

日本石油輸送株式会社

証券コード：9074

JOT

株主の皆様へ

2023年3月期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日



## Shift for the Next

安全の徹底と質の高いサービスで  
未来への責任を果たします

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第106期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)中間期の事業概況のご報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

今後のわが国経済は、社会経済活動の正常化により景気の回復が期待される一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化や、為替相場の急激な変動による悪影響が懸念されております。

当社グループの事業環境につきましても、輸送需要は徐々に回復しつつあるものの、国内外の情勢を受けて、エネルギー価格や原材料価格が高騰し、また需要低迷等への懸念も強く、今後も先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画(2021年度～2023年度)の達成を目指して、安全・安定輸送に尽力するとともに、引き続き各事業における基本方針・行動計画のもと、事業環境の変化にも迅速に対応し、着実に取り組みを進めてまいります。

また、将来に向けた「グリーンロジスティクス」(CO<sub>2</sub>の排出抑制に向けた、新たなエネルギーの輸送事業や輸送方法)の実現に向けた取り組みなど、ESG(環境・社会・ガバナンス)経営の実践にも努めてまいります。

中間配当金につきましては、1株につき金40円とさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2022年12月

代表取締役社長 野村 昌一郎

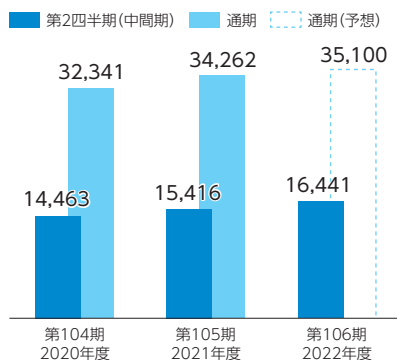
## 第2四半期（中間期）連結決算の概況

当社グループは、中期経営計画（2021年度～2023年度）の達成に向け、感染症の予防を図りながら、安全・安定輸送を継続しつつ、基盤事業における収益の維持・確保や生産性向上、海外輸送の収益力の向上、脱炭素社会に向けた輸送需要への対応等に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、石油輸送事業および化成品輸送事業における増加により、16,441百万円（前年同期比6.6%増）となりました。一方、燃料費や人件費等の経費が増加したため、営業利益は316百万円（同19.7%減）、経常利益は474百万円（同3.3%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の減少もあり336百万円（同3.5%増）となりました。

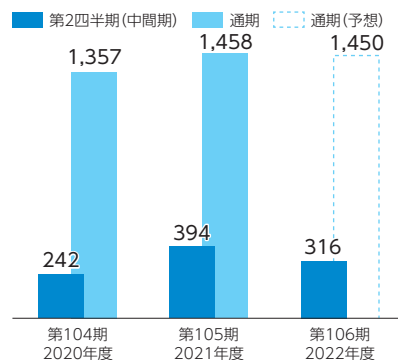
### 売上高

（単位：百万円）



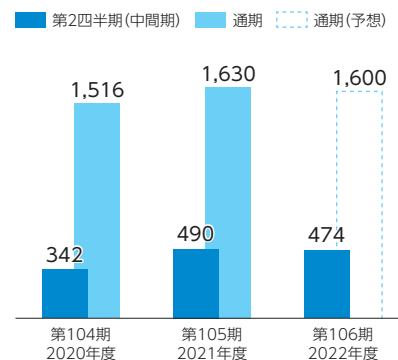
### 営業利益

（単位：百万円）



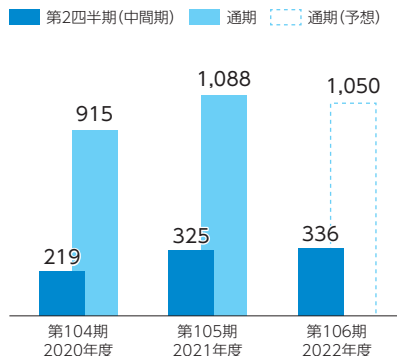
### 経常利益

（単位：百万円）



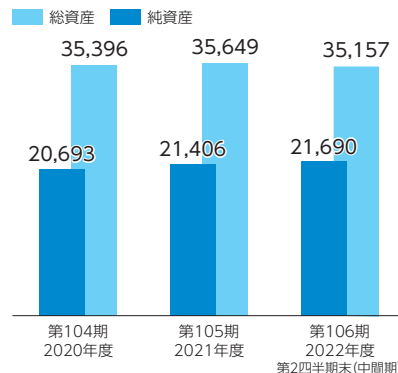
### 親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益

（単位：百万円）



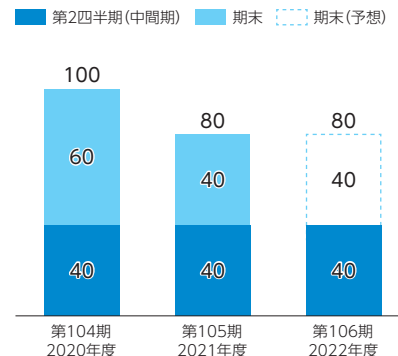
### 総資産・純資産

（単位：百万円）



### 1株当たり配当金

（単位：円）



詳細な財務情報は、当社ホームページ『IR情報』をご参照ください。

<https://www.jot.co.jp/ir/index.html>

日本石油輸送 IR

検索

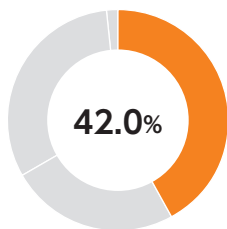


※第104期の1株当たり配当金には記念配当20円が含まれております。

## 第2四半期（中間期）セグメント別の概況（連結）

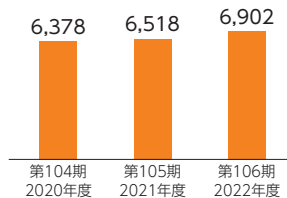
### 石油 輸送事業

#### 売上高構成比

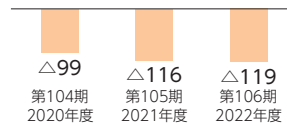


#### 売上高・セグメント利益の推移

##### 売上高 (単位:百万円)

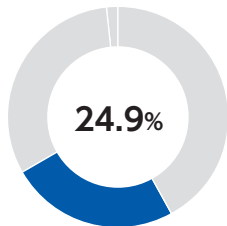


##### セグメント利益 (単位:百万円)

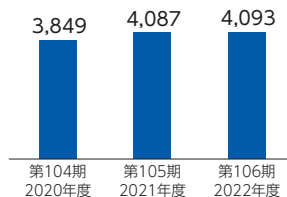


### 高圧ガス 輸送事業

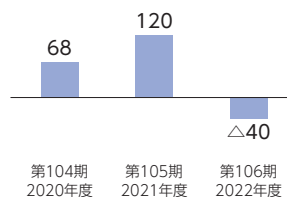
#### 売上高構成比



##### 売上高 (単位:百万円)

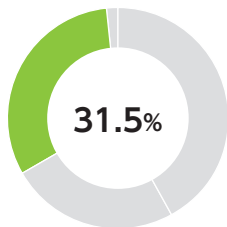


##### セグメント利益 (単位:百万円)

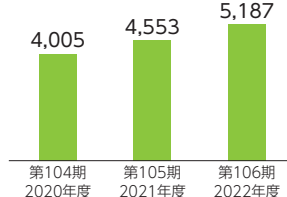


### 化成品・ コンテナ 輸送事業

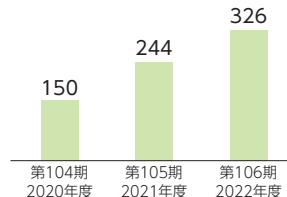
#### 売上高構成比



##### 売上高 (単位:百万円)

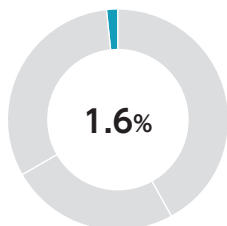


##### セグメント利益 (単位:百万円)

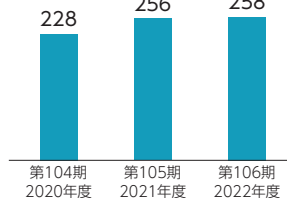


### 資産運用 事業

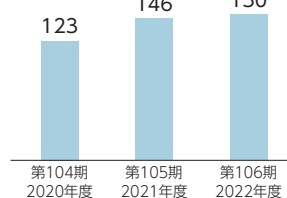
#### 売上高構成比



##### 売上高 (単位:百万円)



##### セグメント利益 (単位:百万円)



## 事業内容

環境に優しく、低コストで大量輸送が可能な鉄道タンク車輸送と、機動力があり柔軟性に富んだ自動車輸送という2つの異なる輸送モードを持つメリットを生かし、ガソリン、軽油、灯油等の燃料油の輸送を行っています。



LNG(液化天然ガス)のタンクローリーによる輸送と、鉄道用タンクコンテナによる複合一貫輸送を行っています。全国各地の輸入基地および国産ガス田から、お客様のサテライト基地、工場等を結んでいます。



化成品輸送事業は、国内外において各種石油化学製品等を輸送する各種コンテナのリースおよび様々な輸送モードを組み合わせた複合一貫輸送を展開しています。

コンテナ輸送事業は、農産品や食料品、工業製品、宅配便等、お客様のニーズに適した各種鉄道用コンテナをレンタル・リースしています。



保有不動産の賃貸事業に加え、全国4か所にソーラーステーションを設置し、太陽光発電事業を行っています。



## 第2四半期(中間期)の概況

売上高 **6,902**百万円

セグメント利益 **△119**百万円

鉄道輸送において出荷地変更の影響による輸送数量の増加等に加え、自動車輸送における需要の増加により、売上高は6,902百万円(前年同期比5.9%増)となりました。一方、利益面においては人件費等の経費の増加により、119百万円のセグメント損失(前年同期は116百万円のセグメント損失)となりました。

売上高 **4,093**百万円

セグメント利益 **△40**百万円

LNG輸送において新規輸送による増加等があったものの、LPG輸送における需要の減少等により、売上高は前年並みの4,093百万円(前年同期比0.1%増)となりました。一方、利益面においては燃料費や人件費等の経費の増加により、40百万円のセグメント損失(前年同期は120百万円のセグメント利益)となりました。

売上高 **5,187**百万円

セグメント利益 **326**百万円

化成品輸送においては、国内輸送が堅調に推移したことに加え、海外輸送における収益力の向上や円安の影響等もあり、売上高は増加いたしました。

コンテナ輸送においては、7月以降、豪雨等の自然災害による貨物列車の運休の影響を受け、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は5,187百万円(前年同期比13.9%増)、セグメント利益は326百万円(同33.7%増)となりました。

売上高 **258**百万円

セグメント利益 **150**百万円

不動産賃貸において新規物件の賃貸開始があったものの、太陽光発電における日照不足等の影響を受け、売上高は前年並みの258百万円(前年同期比0.7%増)となりました。また、経費の減少によりセグメント利益は150百万円(同2.6%増)となりました。



## JOTグループのESG活動

JOTグループでは、グループ一体となってESG(環境・社会・ガバナンス)活動を推進するため、グループESG委員会を設置しています。具体的には「環境保全」「安全」「品質管理」「人間尊重」「社会貢献」「コンプライアンス」の6つのテーマを設定し、持続可能な豊かな社会の実現を目指して取り組んでいます。

全てのステークホルダーの皆様と、より強固な信頼関係を築いていくため、これからもJOTグループ一丸となり、さらにESGを意識した企業活動を進めておりますが、ここではその活動の一端をご紹介します。

### ■ 環境保全

#### クリーンロジスティクスプロジェクト

JOTグループでは来たる脱炭素社会に備え、新たなエネルギー輸送事業への参画および輸送で発生するCO<sub>2</sub>の抑制を目的としたプロジェクトが2021年度に発足しました。

本プロジェクトでは、燃焼時にCO<sub>2</sub>を排出しない水素、液体アンモニア等のクリーンエネルギー輸送を、EV車両やFCV車両を利用したクリーンな方法で実現するための研究・検討を行っています。



### ■ 安全

#### 安全教育の強化

JOTグループでは「安全を仕事の中心に SAFETY 1st」をスローガンに輸送品質を高め、お客様のブランド向上・信頼に応えてまいります。

グループ会社のエネックスでは、2021年度から乗務員の体系的な安全指導、安全教育の強化を目的に、支店ごとにスーパーバイザーを選任し、その指導力強化を図るため「スーパーバイザー研修」を実施しています。



### ■ 品質管理

#### 容器メンテナンス

容器メンテナンスの徹底や安全に配慮した輸送容器の提供により、品質向上に取り組んでいます。

- 石油タンク車では年1回、バルブ・タンク内・外装・パッキン等消耗品の自主点検を実施しています。



ESG活動の詳細な情報は、当社ホームページ『ESG』をご参照ください。

<https://www.jot.co.jp/csr/index.html>

日本石油輸送 ESG

検索





- ISOタンクコンテナでは、建造後15年を目途に、劣化が著しいものについて、断熱材・外装材の全面取替えや再塗装を行い、性能を維持しています。



- 冷蔵コンテナでは、お客様に綺麗なコンテナを使用頂くため、定期的な庫内外の清掃を行い、「コンテナ美化」に取り組んでいます。



## ■ 人間尊重

### ワークライフバランスの充実

子育てや介護をしながら、誰もが仕事と生活の調和がとれた働き方ができるよう、ワークライフバランスの充実に向けた取り組みを着実に進めています。

働きやすい職場環境を実現するため、労働時間の管理や有給休暇取得促進等に取り組むと同時にフレックスタイム制度も導入し、柔軟で従業員の健康を守る働き方を推進しています。



## ■ 社会貢献

### 次代を担う子どもたちへの育成支援

わが国の将来を担う次世代の育成のために、子どもを交通事故から守る黄色い帽子や傘等を本社・支店の地元の小学校へ寄贈する活動を、長年にわたり継続して取り組んでいます。

### 子どもの貧困への支援

貧困状態にある子どもへの支援や調査に基づく政策提言等、総合的に子どもの貧困対策に取り組んでいる「公益財団法人あすのば」の活動に2016年から支援を行っています。



## ■ コンプライアンス

### 従業員への情報提供の充実

コンプライアンスの徹底に向け、全役職員の知識や意識の向上を目的として、講演会や各種研修時の教育のほか、メールマガジンの定期的な配信等を実施することで、コンプライアンス関連の情報提供の充実に努めています。

また、各自の行動の振り返りや再自覚を促し、経営理念や業務に関する法令等の理解を深めるため、セルフチェック方式による「コンプライアンスチェック」を毎年実施しています。



# 株式の状況／JOTグループ／会社概要 (2022年9月30日現在)

## 株式の状況

|          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 6,000,000 株                     |
| 発行済株式の総数 | 3,322,935 株<br>(自己株式12,604株を含む) |
| 株主数      | 3,012 名                         |

## 大株主

| 株主名                                | 持株数<br>(百株) | 持株比率<br>(%) |
|------------------------------------|-------------|-------------|
| ENEOSホールディングス株式会社                  | 9,644       | 29.14       |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)            | 2,173       | 6.56        |
| 光通信株式会社                            | 2,025       | 6.12        |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口4)                | 1,285       | 3.88        |
| 株式会社三井住友銀行                         | 788         | 2.38        |
| 小野寺 毅                              | 742         | 2.24        |
| 日本車輛製造株式会社                         | 669         | 2.02        |
| 日本石油輸送グループ従業員持株会                   | 650         | 1.96        |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                 | 519         | 1.57        |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 484         | 1.46        |

## JOTグループ

|            |             |
|------------|-------------|
| 株式会社エネックス  | 株式会社ニュージェイズ |
| 近畿石油輸送株式会社 | 株式会社JKトランス  |
| 株式会社ニチュ    |             |

### 【株主名簿管理人 三井住友信託銀行】

- 電話【フリーダイヤル】 0120-782-031 (平日 9:00~17:00)
- ホームページアドレス <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部



日本石油輸送株式会社

TEL:03-5496-7671 (代表)  
<https://www.jot.co.jp/>



## 会社概要

|         |                                                                                                                                                                                               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号      | 日本石油輸送株式会社                                                                                                                                                                                    |
| 設立      | 1946年(昭和21年)3月27日                                                                                                                                                                             |
| 本社所在地   | 〒141-0032<br>東京都品川区大崎一丁目11番1号<br>(ゲートシティ大崎 ウエストタワー16階)<br>TEL:03-5496-7671 (代表)                                                                                                               |
| 資本金     | 16億61百万円                                                                                                                                                                                      |
| 従業員数    | 連結1,504名、単体160名                                                                                                                                                                               |
| 主要な事業所  | 北海道支店(札幌)・東北支店(仙台)・関東支店(川崎)・中部支店(名古屋)・関西支店(大阪)・九州支店(福岡)・シンガポール支店(シンガポール共和国)および新潟事業所                                                                                                           |
| 主要な事業内容 | 1. 石油製品(ガソリン・灯油等)の鉄道タンク車輸送・貨物自動車輸送<br>2. 高圧ガス(LNG等)の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送および複合一貫輸送<br>3. 石油化学製品等の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送ならびに国内および国際複合一貫輸送、各種コンテナのリース<br>4. 鉄道用冷蔵・冷凍コンテナ等のレンタル・リース<br>5. 不動産賃貸<br>6. 太陽光発電 |

## 役員

### 取締役

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 代表取締役会長           | 栗本 透   |
| 代表取締役社長<br>社長執行役員 | 原 昌一郎  |
| 取締役専務執行役員         | 高橋 文弥  |
| 取締役常務執行役員         | 武本 修   |
| 取締役執行役員           | 岡崎 基太  |
| 取締役執行役員           | 松井 克浩  |
| 取締役               | 田長丸 雅司 |
| 社外取締役             | 草刈 隆郎  |
| 社外取締役             | 坂之上 洋子 |

### 監査役

|       |       |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 高野 潤  |
| 監査役   | 辻 幸則  |
| 社外監査役 | 佐野 裕  |
| 社外監査役 | 齊藤 貴一 |

### 取締役を兼務しない執行役員

|      |       |
|------|-------|
| 執行役員 | 青野 滋  |
| 執行役員 | 竹本 明彦 |
| 執行役員 | 花岡 雅弘 |
| 執行役員 | 遠藤 尚  |



この冊子は、適切に管理された森林から生まれたFSC® 認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。